

基本方針Ⅲ 市町村、事業者、大学等との連携

センター…高知県ボランティア・NPOセンター

とりまとめ：平成27年3月末日時点

実施項目	行動計画 (P)			取組目標	実行 (D)	評価 (C)	改善 (A)	H30年度の 目指すべき姿	実施 主体
	行動計画の 項目	実施内容(計画上の記載)	具体的な取組内容		実施状況や事業の効果	課題等	今後の取組		
1 市町村との 連携	① 市町村と社会貢献活動 団体との協働推進のため の支援	市町村と社会貢献活動団体との協働推進のため、他地域での連携事例の紹介や情報交換を行うための意見交換会の開催や、協働を目指して地域のさまざまな主体が協議する場を設けるなど、市町村に対する支援を通じた連携を図る。	・市町村職員とNPOとの意見交換会の実施 ・NPOと市町村との協働モデル事業報告書の配布	・市町村とNPOとの意見交換会 【年1回開催】 ・NPOと市町村との協働モデル事業報告書の配布	・地域ネットワーク会議を2市町で開催 2/3 黒潮町 2/12 室戸市 ・NPOと市町村との協働モデル事業報告書の配布	・市町村単位で開催する場合、管内にNPO法人がない行政もある。 ・近隣市町村のNPO、行政同士の交流も重要であり、ブロック単位の企画も重要 ・NPOと行政の協働事例の収集	・今年度の実績を踏まえ、改善を加えながら、市町村ごとに行政とNPOの交流機会を創出する。 ・ブロック単位の企画の検討	・協働事業の増加	県 (県民生活・男女共同参画課)
	② 地域支援企画員を中心 とした連携	それぞれの地域で活動している地域支援企画員が中心となり、市町村との連携を進める。	・地域支援企画員への情報提供	・地域支援企画員への情報提供 【毎月1回】	・新規法人や定款変更(活動分野の変更)、センターの研修情報等、地域支援企画員の活動フィールドで役立つ情報を月1回、メールで情報提供	情報提供の内容の検討	引き続き実施する。	・新たな取組の創出	県 (県民生活・男女共同参画課)
2 事業者との 連携	① 事業者(企業)と社会貢献活動 団体との交流の場づくり	事業者(企業)と社会貢献活動団体との交流を進めるため、高知県ボランティア・NPOセンターが中心になって行ってきた「企業・NPOパートナーシップ委員会(※)」を継続実施し、双方交流の場を定期的に開催する。	・NPO・企業パートナーシップ委員会の開催(企業とNPOのマッチングの検討や場づくり) ・企業へ社会貢献活動事例パンフの配布	・NPO・企業パートナーシップ委員会(企業とNPOのマッチングの検討や場づくり) 【年2回開催】 ・企業へ社会貢献活動事例パンフの配布 【年1回配布】	・企業NPOパートナーシップ委員会を年5回開催 ・企業市民セミナーを開催 3月5日開催 28名参加 ・企業とNPOの協働事例集を発行 600部	・県内企業の取り組み事例の収集 ・取り組み事例や方法を企業に啓発		・企業との連携事業の増加	センター
	② 事業者(企業)の社会貢献活動 推進のための仕組みづくり の検討	事業者(企業)の社会貢献活動を県内で一体的に推進するため、経営者レベルが参画する事業者(企業)の社会貢献活動の推進主体となる組織やその仕組みについて検討する。	・「企業・NPOパートナーシップ委員会」において、組織、仕組み等について検討。 ・企業へ社会貢献活動事例パンフの配布	・NPO・企業パートナーシップ委員会(企業とNPOのマッチングの検討や場づくり) 【年2回開催】 ・企業へ社会貢献活動事例パンフの配布 【年1回配布】	同上	同上		・企業との連携事業の増加	センター

実施項目	行動計画 (P)			取組目標	実行 (D)	評価 (C)	改善 (A)	H30年度の 目指すべき姿	実施 主体
	行動計画の 項目	実施内容(計画上の記載)	具体的な取組内容		実施状況や事業の効果	課題等	今後の取組		
3 大学等 教育機関との 連携	① 大学との 連携	大学での公開講座の開催や社会貢献活動の評価に関する研究等、社会貢献活動の推進に関して、県内の大学との間で協定を結ぶなど、相互の連携・協力体制を拡充する。	・大学との連携・協力体制の拡充	・地(知)の拠点整備事業の実施	【文化推進課、私学・大学支援課】 ・県が設立団体となっている県立大学・工科大学はもとより、高知大学ともH24年度に締結した包括的連携に関する協定に基づき、連携・協力体制が拡充されている。 【計画推進課】 ・高知県地域社会連携推進本部会議の開催 4回(4/22、7/31、11/25、3/17) ・UBC(高知大学教員)4名が産業振興推進地域本部に常駐	【文化推進課、私学・大学支援課】 ・各大学とも、県民のニーズに応えるべく、公開講座などを充実させているが、大学に対する社会貢献の期待度は、より高くなっており、さらなる連携・協力を進めていく必要がある。 【計画推進課】 地域の課題に対して県と大学が連携して解決に臨む体制が構築された。 ・大学の資源を活かして地域と連携・協働する活動が、県内各地で展開された。	【文化推進課、私学・大学支援課】 ・各大学との連携は、着実に進んでいるが、より社会貢献を意識した連携・協力をさらに進めていく必要がある。 ・H27年度からスタートする「産学官民連携センター」を中心に各大学との連携・協力体制をより深め、県内外の英知を導入しながら、産学官民の連携や様々な課題解決に取り組んでいく。 【計画推進課】 ・地域における協働活動の定着 ・課題のさらなる掘り起こしによる地域の活性化や担い手育成	・地域の課題解決体制の構築	県 (計画推進課、文化推進課、私学・大学支援課) 大学
	② 社会貢献活動の質的評価についての研究	社会貢献活動を評価する仕組みとして、その質的評価の指標について、県、大学、NPO等で研究を行う。	・経営研究会による質的評価検討の実施	【年6回開催】	・NPO経営研究会の開催 第1回 5月28日 12名 第2回 7月23日 13名 第3回 9月24日 7名 第4回 11月26日 11名 第5回 1月28日 12名	・自己評価マニュアルの広報		・NPO法人の20%以上が質の向上に取り組む	センター
4 中間支援組織との 連携	① 中間支援組織との意見交換等の実施	社会貢献活動に対する支援を効果的に推進するため、中間支援組織との連携を図り、社会貢献活動のさらなる活性化を促進する。	・NPOサポートチーム(※)の定例会の開催	【年2回開催】	・4月16日にセンター、高知市市民活動サポートセンター、環境活動支援センターえこらぼの三団体で連携事業打合せ	・同様事業の共催や連携	・NPO活動支援のための連携事業の検討	・支援策の策定、事業	県 (県民生活・男女共同参画課) 中間支援組織

※企業・NPOパートナーシップ委員会…企業の社会貢献活動および企業とNPOとの連携を進めるため、企業・経済団体、NPO支援組織らで構成している委員会。定期的に「企業市民セミナー」を開催しているほか、企業から提供される物品等の資源をNPOに提供する「企業・NPO資源循環システム」の運用などを行っている。

※NPOサポートチーム…高知県ボランティア・NPOセンターなど県内の中間支援組織を中心に、NPOへの支援を検討、サポートする組織。